

問1 静岡県の農業の特色について、茶とみかんの生産状況や地理的背景をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 滋賀公立入試 類似)

1. 日本一の茶の生産量を誇るほか、温暖な気候や傾斜地を活かしたみかんの生産でも全国的に高いシェアを占めている。
2. 茶の生産量は全国一位であるが、みかんの生産は寒冷な北部山間部に集中しており、全国的なシェアは低い。
3. 茶の生産量は全国上位であるが、みかんの生産に関しては四国地方や九州地方に次ぐ規模であり、全国シェアは一割に満たない。
4. 明治時代に開拓された牧之原台地でみかんの栽培が始まり、現在は茶の生産を上回る主要な産品となっている。

問2 中部地方の自動車工業の特徴と、その発展を支えた地理的・経済的要因の説明として正しいものを次の中から選んでください。 (2019年 大分県公立入試 類似)

1. 製品の輸出に便利な大きな港が近くにあり、周辺にはエンジンやブレーキなどの部品を製造する工場が集積していた。
2. 原材料をすべて海外からの輸入に頼るため、大型貨物機が発着できる空港の周辺に組み立て工場が集約された。
3. 寒冷な気候を活かした精密機械工業が発展し、その技術を転用して電気自動車のみを専門に製造する地域となった。
4. 水はけのよい台地が広がっており、広大な果樹園を工業団地へ転換することで用地不足を解決した。

問3 中央高地に位置する甲府盆地で、ぶどうなどの果樹栽培が盛んに行われている理由として最も適切な説明はどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)

1. 県土の約85%が山地であるため、水はけの良い扇状地や傾斜地を有効に活用する必要があったから。
2. 一年を通じて降水量が非常に多く、稲作に必要な水を確保しすぎると、湿気を好む果樹を選んだから。
3. 海岸沿いの平坦な土地が広がっており、海風による塩害を受けにくい広大な農地が確保できるから。
4. 瀬戸内の温暖な気候に属しており、桃やマスクットとともに大規模な施設園芸が発達したから。

問4 静岡県内の工業都市とその特徴について述べた次の文のうち、東海工業地域の特色を正しく表しているものはどれですか。 (2026年 山形公立入試 類似)

1. 浜松市を中心にオートバイや楽器の製造が発展し、富士市では富士山の豊富な湧水を利用した製紙業が盛んに行われている。
2. 名古屋市や豊田市を中心に、日本最大の出荷額を誇る自動車工業が集積しており、周辺には石油化学コンビナートも形成されている。
3. 東京都から神奈川県にかけての沿岸部に位置し、出版・印刷業や、高度な技術を要する中小企業の工場が密集している。
4. 高速道路のインターチェンジ周辺に、安価で広い用地を求めて自動車工場や電気機械の工場が移転し、内陸型の工業が発達している。

問5 富山県を含む北陸地方では、かつてアルミニウム工業が盛んに発達しました。アルミニウムの製錬には極めて大量の電力を必要とすることを踏まえ、この地域に産業が集積した理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 富山公立入試 類似)

1. 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため
2. 大規模な火力発電所が建設され、海外から輸入した石炭を安く利用できたため
3. 広大な平野部を利用して大規模な太陽光発電が行われ、電力を自給できたため
4. 北陸新幹線の開通により、製品を消費地である首都圏へ高速輸送できるようになったため

問6 愛知県豊橋市は全国でも有数の農業産出額を誇ります。この地域の農業産出額の内訳を示した統計において、米、果実、畜産などの項目を抑え、全体の半分以上(約51.4%)を占めている品目として最も適切なものを選んでください。 (2023年 栃木県公立入試 類似)

1. 野菜
2. 米
3. 畜産
4. 果実

問7 日本海側の北陸地方では、冬に大量の雪が降るといった気候特性があります。この自然環境が、この地域の稲作にどのような利点をもたらしているか、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2021年 徳島公立入試 類似)

1. 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。
2. 冬の低温と雪によって害虫の発生が抑えられるため、夏場の肥料が不要になる仕組み。
3. 雪が断熱材の役割を果たし、冬の間も水田でレタスなどの高原野菜を栽培できる仕組み。
4. 雪解け水が地中の地熱を冷やすことで、夏の猛暑による稲の病気を防ぐ仕組み。

問8 愛知県を中心とする東海地方では、ある特定の工業製品の事業所が密集して分布しています。この、自動車などの製造を指す工業の分類名と、完成した製品を海外へ輸出する際に主に利用される輸送手段の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)

1. 輸送用機械と海上輸送
2. 輸送用機械と航空輸送
3. 電子部品と海上輸送
4. 電子部品と航空輸送

答え合わせ・解説

| | | |
|----|---|--|
| 問1 | 答え 1 日本一の茶の生産量を誇るほか、温暖な気候や傾斜地を活かしたみかんの生産でも全国的に高いシェアを占めている。 | 静岡県では、明治維新後の土族授産などによって開拓された牧之原台地が日本最大級の茶産地となりました。これに加えて、黒潮の影響を受ける温暖な海岸沿いの傾斜地が日当たりを好む果樹栽培に適しているため、みかんの生産においても全国屈指のシェアを誇っています。 |
| 問2 | 答え 1 製品の輸出に便利な大きな港が近くにあり、周辺にはエンジンやブレーキなどの部品を製造する工場が集積していた。 | 中部地方の自動車工業は、名古屋港などの輸出に便利な港湾施設を備えていたことに加え、膨大な数の部品を供給する関連工場が組み立て工場の周辺に集積（ジャストインタイム生産方式など）していたことが大きな強みとなりました。これにより、輸送コストを抑えつつ効率的な大量生産が可能となりました。 |
| 問3 | 答え 1 県土の約85%が山地であるため、水はけの良い扇状地や傾斜地を有効に活用する必要があったから。 | 山梨県は県土に占める山地の割合が非常に高く、平地が限られています。甲府盆地の縁に広がる扇状地は水はけが良いため、主食である米の栽培（稲作）よりも、水はけの良さを好む果樹の栽培に適しています。また、盆地特有の昼夜の寒暖差が果実の甘みを強めることも、高品質なぶどう生産を支える要因となっています。 |
| 問4 | 答え 1 浜松市を中心にオートバイや楽器の製造が発展し、富士市では富士山の豊富な湧水を利用した製紙業が盛んに行われている。 | 東海工業地域は、特定の巨大都市に依存するのではなく、浜松市（輸送用機械・楽器）や富士市（製紙）といった各都市が独自の地場産業や資源背景をもとに発展してきました。選択肢にある自動車工業の集積は中京工業地帯、印刷業や中小工場の密集は京浜工業地帯、内陸型工業の発展は北関東工業地域の特徴です。 |
| 問5 | 答え 1 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため | アルミニウムの製錬は「電気の缶詰」と呼ばれるほど大量の電力を消費します。富山県は北アルプスなどの山々から流れる急流河川に恵まれ、水力発電による安定した電力供給が可能であったため、高度経済成長期を中心にアルミニウム工業が大きく発展しました。 |
| 問6 | 答え 1 野菜 | 豊橋市は、温暖な気候と豊川用水の整備を背景に、施設園芸や露地栽培が極めて盛んな地域です。他の主要都市と比較しても、富山市のように米の割合が高かったり、鹿児島市のように畜産の割合が高かったりする傾向とは異なり、キャベツやブロッコリー、トマトといった野菜の生産に特化している点が大きな特徴です。 |
| 問7 | 答え 1 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。 | 北陸地方の稲作において、冬の降雪は「天然のダム」としての役割を果たします。山地に積もった大量の雪が春から初夏にかけて徐々に溶け出すことで、田植えの時期に必要な大量の水を安定して供給することができます。この雪解け水という安定した水源があることが、北陸地方で単作（年1回の稲作）による大規模な米作りが発展した背景にあります。 |
| 問8 | 答え 1 輸送用機械と海上輸送 | 東海地方、特に愛知県周辺では、自動車を中心とした輸送用機械の製造が極めて盛んです。自動車は重量物であり、かつ一度に大量の製品を輸出する必要があるため、重量物の大量輸送に適しており、コストを抑えられる海上輸送が主な手段として選ばれています。一方で、IC（集積回路）などの軽量で高価な電子部品は、速達性の高い航空輸送が利用される傾向にあります。 |